

会 議 概 要

会議の名称	令和7年度第4回社会教育委員会会議
開催日時	令和8年3月18日(水) 13時30分 開会 15時30分 閉会
開催場所	湧別町文化センターさざ波 多目的ホール
出席者名	山本副委員長、・原委員、杉原委員、工藤委員、今野委員 田淵委員、柴田委員、神尾委員 8名 教委～阿部教育長、西海谷課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査 北村主査、鈴木主任
欠席者名	深谷委員長、平野委員、毛利委員、橋本委員、米本委員、早川委員 (6名)
傍聴人の数	なし
会議の内容	1. 開 会 2. 教育長あいさつ 3. 議 事 報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について 議案第1号 令和8年度社会教育事業計画(案)について 協議第1号 意見交換 テーマ「社会教育委員の活動のふりかえり」 4. その他 5. 委員長あいさつ・閉会
会議資料	令和7年度第4回社会教育委員会会議案
会議録	■ 有 (□全文筆記 ■要点筆記) □ 無
備考	

1 日 時

令和8年3月18日（水） 13時30分～15時30分

2 会 場

湧別町文化センターさざ波 多目的ホール

3 会議及び用務

令和7年度 第4回社会教育委員会議

4 出席者

社会教育委員：山本副委員長、・原、杉原、工藤、今野、田淵、柴田
神尾 各委員（8名）

欠席：深谷委員長、平野、毛利、橋本、米本、早川 各委員
（6名）

教育委員会：阿部教育長、西海谷課長、中島参事、藤本主幹、仁木主査
鈴木主任

5 結果要旨

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 議 事

○報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

（山本委員）図書館活動内の①図書館資料の収集、整理、保存にて、
来館者数や貸出冊数が減少しているが、令和8年度に向
けた対策等がありますか。

（北村主査）現状では、今話題のテーマに沿った特別展示等で継続し
た来館者の確保に努めています。

（中島館長）情報端末が普及していく中で、図書館での調べもの等
による来館者数や貸出冊数も減少している。主に70歳代

の利用や幼児、小学生の利用が主であり、内容の充実を図ると共に、対応については、検討を行っていきます。

○議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

（工藤委員）基盤整備内の①生涯学習情報の収集・提供・相談体制の充実について、令和8年度より、社会教育事業結果はSNS等（インスタグラム）にて情報発信していくということであるが、登録者が160人程度であるということでした。現在の中高生や保護者は特にインスタグラムにて情報を受け取っており、10代から保護者世代をターゲットにすることで、登録者が増え情報が拡散していくと考えます。また、湧別町少年柔道大会「上野カップ2026」について、昨年度は、従来通りの組織体制や運営体制が確保できないとのことで、中止となったが、令和8年度は開催するのでしょうか。

（藤本主幹）昨年度は組織体制や運営体制が整わず、事業を進めることができなかったが、令和8年度については、体制が整う見通しであり、大会の開催を予定しております。

（工藤委員）クロスカントリースキー大会について伺いたいのですが、昨今の雪不足により、日程の変更等の話し合いは行っているのでしょうか。

（西海谷課長）日程については、湧別町の大会前後の週で、他市町村でもクロスカントリースキー大会が行われており、日程の変更

は厳しいところです。

(田淵委員) e-スポーツやA I 技術、インターネット関係の事業を行う予定はありますか。現在、町内でも民間でA I 技術を学ぶ教室が行われていたり、ニーズがあるテーマと考えています。

(仁木主査) e-スポーツは令和8年度も芸術・文化活動の振興内のカルチャー教室にて行う予定です。A I 技術については、今年1月に町内団体 (SAMPE Design and Education) にて実施した「ゆうべつA I 入門会」の後援として携わり、事業を行ってきたところであり、今後についても、実施団体より継続したい旨話があることから、令和8年度も実施していく予定です。

(柴田委員) 資料24ページの令和8年度社会教育施設整備計画内で、図書館のエアコン設置に係る予算は、ここには記載されないのか。

(中島館長) 今回については、スポットクーラーの設置を予定しており、50万円以下での金額を見込んでおります。

(教育長) 今後、50万円にこだわらず主要なものを載せるようにしたい。

○協議第1号 意見交換 テーマ「社会教育委員の活動のふりかえり」

(杉原委員) 11月に開催された、オホーツク管内社会教育振興セミナー(津別町)へ参加しました。町外での研修は初めてでしたが、どの地域でも人口減少などの似たような課題で悩んでいる様子を感じました。町から出ていく人は仕方がないことで、減ることよりも定着させることに比重を置くべきだということ再認識し、とても勉強になりました。

(柴田委員) 11月に開催した家庭教育研修会「親子木工教室」の講師として参加しました。また、一般財団法人樫尾俊雄記念財団(協力:カシオ計算機株式会社)が主催する「子どもたちみんなが発明家」として、ワークショップが5年生を対象に、上湧別学園とゆうべつ学園で開催されていました。なりたい職業や親の職業をテーマに一次産業の町ならではのアイデアが生まれていました。委員の中でテーマや講師としてこういったことがやりたいなどあれば、社会教育課を通すことでつなげてくれますので、ぜひ、社会教育委員として携わってみてはどうでしょうか。

(今野委員) 高校生は、サロマ湖100kmマラソン大会やクロスカン트리スキー大会の手伝い、ボランティア部では図書館で本の読み聞かせをやらせていただいたりと、町との関わりを持たせていただいております。大変ありがたいと感じているところです。また、社会教育委員の皆さまにも湧別高校を訪問していただき、行事の際などには、ご覧いただく機会を設けられた

らと思っております。

(工藤委員) 主に青少年指導センターの事務局として各子ども会と関わっています。コロナ以降、事業への参加者が減少していましたが、現在では、子ども会リーダー研修会などの宿泊事業も含め参加者は増加傾向です。要因として考えられるのは、参加した児童による学校内での口コミ等により、友達を巻き込んだ参加などが考えられます。また、どの団体でも同じかもしれませんが、青少年指導センターにおいても役員等による後継者問題があります。事務局としては、保護者を巻き込むのと併せて、子どもの頃に事業に参加してきた20代、30代へも声掛けや周知を行い、協力したいと思っている方を集めてはどうかと考えています。

(田淵委員) 11月に開催された、第64回北海道社会教育研究大会(今金町)へ参加しました。グループワーク等では、人口が減っている中でイベントの開催や運営が課題としてありました。ただ、人口が減っていてもその環境や状況に応じた対応は、少ないなりにやっていくという状況でした。その活動を継続することで、町外へ活動が伝わり参加者の確保にも繋がるのではと感じました。また、先ほどAIの話をしていましたが、現物による事業と併用、2本立ての事業とすることでより効果が出ると感じました。例えば、デジタル技術により昔の建築物を3Dで見て、現物はふるさと館JRYで触れてみるといった内容にすることで中身が充実すると感じました。

(神尾委員) 令和7年度から着任し、今年1年様々な社会教育活動等を見てきました。参加できるものは積極的に参加してきましたが、改めて事業の多さに驚きました。私が住んでいる地区では、子どもが少なく、子ども会活動等はできていませんが、今年自治会でお祭りを開催しました。参加者が来るか不安でしたが、保護者同士の繋がりから他区からも数名参加があり、形にすることができました。子どもは親を見ており、親が楽しいことをしていれば子どももやってみたくて感じています。保護者を巻き込むことで、結果として子どもの参加にも繋がると感じました。

(菅原委員) 11月のオホーツク管内社会教育振興セミナー、2月の地域生涯学習実践活動交流セミナーへ参加しました。グループワーク等で湧別町の紹介をした際に、事業等充実していますねと言われ、湧別町の社会教育は他に負けないくらい頑張っていると感じました。また、大空町や紋別市ではモルックを活発に行っており、湧別町でも一緒にモルックや他の活動等、近隣町村と協力することで、内容がより充実されたものになるのではと感じました。

(山本委員) 7月の北海道市町村社会教育委員長等研修会に参加しました。講演のテーマが「北海道における外国人受け入れの現状と地域社会における共生の取組み」というものでした。湧別町にも外国から仕事をしに来ている人がいます。彼らは短期での滞在ですが、今後、定住される方も増えるのではと感じまし

た。ただ、社会教育としてそういった方々に対して、どのような対応ができるか今はわかりませんが、今後考えさせられる内容でした。

(柴田委員) よく保護者から、部活動の地域移行について聞かれます。新聞でも野球クラブが誕生し、部活動は移行される記事も拝見しました。今後の展開についてお聞きします。

(西海谷課長) 国としては、基本的に全ての部活動は地域に移行することとなっておりますが、湧別町では、地域クラブを作るための受け皿となる団体、指導者がいない状況です。野球に関しては、意欲的な指導者によりクラブ化となり、現在の7年生が9年生になり、その年の中体連が終了後、各学校の野球部は廃部となり、地域クラブでの活動となる予定です。また、教育委員会としては、部活動指導員を配置して、まずは休日の部活動に対して指導等行っていただく体制を整備しているところです。令和8年度中には、バスケットボール、吹奏楽部で部活動指導員の配置を予定しています。以降については、引き続き部活動指導員を募集し、確保でき次第、順次配置を行っていく予定です。

(柴田委員) 近隣の市町村の状況を教えていただきたい。

(西海谷課長) 北見市や紋別市では、令和8年度中に全ての部活動が地域移行となります。

(教育長) 国の方針では令和13年度までには完全移行となっており、湧別町で具体的に進んでいるのは野球部であり、今後に向け

では、各部活ごとに話し合いがされ、できる所から進めてい
るところです。

(柴田委員) 心配されるのが、これまで授業終了後に学校で部活動を行っ
てきたが、会場が別となると、送り迎えができなくて部活に
入れない方がでる心配があります。

その他 社会教育事業及び関係団体等予定表
藤本主幹より説明（質疑等なし）

4. 閉 会 終了 -15 : 30-

令和7年度
第4回社会教育委員会議案

と き 令和8年3月18日(水)
午後1時30分
ところ 文化センターさざ波(多目的ホール)

<会議日程>

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 教育長あいさつ
4. 議 事

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について P1～15

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画(案)について P16～24

協議第1号 意見交換 テーマ「社会教育委員の活動のふりかえり」

その他 社会教育事業及び関係団体等予定表 P25

5. 委員長あいさつ ・ 閉会

社会教育委員名簿

役 職	氏 名	住 所	出欠	備 考
委員長	深谷 聡	計呂地		
副委員長	山本 重幸	錦町		
	平野 寿雄	上湧別屯田市街地		
	菅原 恵介	中湧別東町		
	杉原 武純	旭		
	毛利 美紀子	中湧別北町		
	工藤 雄希峰	登栄床		
	今野 博友	中湧別南町		
	橋本 純子	中湧別中町		
	田渕 徹平	北兵村二区		
	米本 志真	北兵村三区		
	柴田 裕次郎	北兵村三区		
	神尾 周汰	中湧別東町		
	早川 大介	中湧別南町		

(教育委員会)

役 職	氏 名
教育長	阿部 勉
社会教育課長	西海谷 巧
社会教育課参事 <small>(図書館館長、ふるさと館JRY・郷土館館長)</small>	中島 一之
社会教育課主幹	藤本 祐司
社会教育G主査	仁木 宏紀
社会教育G主任	鈴木 健太
社会教育G主事	三浦 茉畝
ふるさと館JRY・郷土館主査	林 勇介
図書館主査(湧別図書館)	北村 公樹
図書館主事(中湧別図書館)	石垣 杏優

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
基 盤	①生涯学習 情報の収 集・提供・ 相談体制の 充実	年間	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「湧く湧く」の 発行(毎月) ・遠軽地区情報紙「なな・なんと 情報」の発行(2カ月に1回) (佐呂間町が当番町) ・町ホームページによる情報の体 系的整理と提供 ・動画による事業記録を収集し活 用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整 備に努める。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,584千円	○情報収集と提供 ・生涯学習情報誌「湧く湧く」の毎月発行 ・遠軽地区情報誌「なな・なんと情報」の偶数月発行。 ・町ホームページによる事業PR(4月～3月) まちの話(4月～3月) ・動画により一部事業を記録保存し、活用法を模索して いる。 ○相談体制の充実 ・地域住民の学びと活動に関する相談に随時対応してい る。 ○インスタグラムによる事業周知(4月～3月)	10-1 10-3
		—	「湧く湧く」 印刷製本費 1,445千円			
	②指導者の 発掘・養 成・活用	年間	主体的な学習と地域貢献との好循 環をすすめるため、様々な分野か ら指導者を発掘養成し、その活用 を図る。	—	—	—
		—	—			
整 備	③団体活動 の支援・育 成	年間	団体リーダーの養成を図るととも に、団体活動が円滑に行われるよ う支援を行う。	—	—	—
		—	—			
④生涯学習 振興奨励事 業	年間	グループ・サークル等が主体的に 行う講演会や鑑賞会などの学習活 動に対して助成を行う。(補助率 75%、ただし極めて公益性が高い 場合は100%)	補助金 3件 300千円	●6/1 自主映画&食育講座×こどもLABO こどもLABO:50,000円 ●8/18 ～いいお母さんより幸せなお母さんに～ 「広げよう子育てのわ」浅井智子講演会 ママの笑顔を応援するおかんズ:100,000円 ●8/30～31 フラワーウォッチング2025～五鹿山の自然を知ろう～ ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL:36,000円	10-4	
	—	補助金 3件 186千円				
⑤施設の整 備・運営・ 連携	年間	公共施設再配置計画など上位計画 との整合を図りながら、施設の計 画的な補修や整備を行うとともに 事業連携・施設間連携により学習 効果の向上を図る。	別紙施設整備計 画のとおり	別紙社会教育施設整備計画に記載するとおり	10-2 10-5	
家 庭 教 育	①家庭教育 研修会	11/30 (日)	家庭教育が困難な現状の共通理解 と家庭教育の重要性を啓発するた めの研修会。講演後に参加者交流 会を開催。健康こども課と連携 し、ニーズの把握に努め定着を図 る。PTA連合会に後援、家庭教育 サポート企業に協賛依頼予定。 開催場所や開催日時、方法につ いて検討する。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	義務教育学校の児童・生徒を持つ保護者を対象とする。 児童・生徒のスマホ利用について考える「メディアとの 付き合い方」と「親子木工教室」の二本立ての研修会を 実施。ICT活用について考える機会とするとともに、 子育てについて参加者相互の情報交流を行った。 「メディアとの付き合い方」講師:岩井 孝浩氏(南イワイ) 「親子木工教室」講師:柴田 裕次郎氏(柴田建設様) 出席者 保護者13名 児童・生徒14名 計27名	1-1
		文化センター TOM	講師謝礼 23千円			
	②健康こども 課との事 業協力	年間	健康こども課との打合せ会議を開 催し、子育て支援センター、子育 て世代包括支援センターとの協力 体制の充実を図る。	—	テーマの内容に伴い託児の必要に応じて打合せ会議等を行 う。	1-3 1-4
③家庭教育 相談	年間	教育アドバイザーによる子育ての 不安や悩みについて身近に相談す る機会を提供するため、ホーム ページの充実を図る。	—	学校と教育AD間の連携により随時教育相談に対応してい る。	1-2	
少 年 教 育	①児童宿泊 研修会	6/12(木) ～13(金)	社会性を培う機会として、全学園 5年生合同で、体験活動を実施。 担当教職員の事前打合せと反省会 もを行い、目的や役割分担の共通理 解やノウハウの蓄積を図る。	参加費102千円 (4,000円×1/2 ×51人) 需用費15千円 バス借上料 150千円	義務教育学校の5年生49名、教諭6名、教委2名が参加 各種体験活動を通して、社会性を培う機会を提供。 5/8、5/27担当者会議を開催。担当教諭の連携を密 に、スムーズな運営に努めた。また次年度に活かすため 7/24反省会議を実施。	2-1 2-4
		ネイバル 北見		参加費97千円 需用費23千円 バス借上料154千円		
②子ども会 の育成・援 助	年間	青少年指導センターの活動支援と あわせ、単位子ども会や湧別地区 サポート協議会のあり方について 指導助言する。	補助金 170千円	子ども会員(257名)＋育成者(保護者215名)合計 472名(子ども会安全会加入者数より) 青少年指導センター事務局を教育委員会で支援(関連事 業に掲載)	2-2	
—	補助金 170千円					

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
少	③第1回子ども会リーダー研修会	7/26(土)~27(日) 五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導センター会計から支出	義務教育学校5年生~6年生18名、ジュニアリーダー17名、青少年指導員2名が参加。ジュニアリーダーを中心にプログラム(レクリエーション)を企画・運営。集団での生活を通してリーダー養成の研修や縦のつながりができた。	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会リーダー研修会	R8.3/28(土)~29(日) 紋別市生涯学習センター			3月開催に向けて企画会議を実施。 1回目 11/16(日)上湧別農村環境改善センター 2回目 12/28(日)紋別生涯学習センター-LILA(下見) 3回目 3/7(土)上湧別農村環境改善センター	
年	⑤百人一首教室	11月~1月 毎週土曜日 農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。義務教育学校(前期課程)~大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	10月8日(水)実行委員会を実施。10月下旬より各義務教育学校を通じて参加募集し、毎週土曜日・13時から15時までとし実施(全9回) 11月: 15日、22日、29日 12月: 6日、13日、20日、27日 1月: 10日、17日	2-1 2-3
	⑥第55回新春交歓力タ大会	R8.1/18(日) 農村センター			1月18日(日)上湧別農村環境改善センターにて開催。 参加者: 18名(幼児: 2名、前期課程: 8名、後期課程: 3名、一般: 5名) 大会は教育委員会、百人一首教室実行委員会の共催により開催。幼児~後期課程の部4チーム、一般の部2チーム参加。	
教	⑦湧うゆう湧くわく体験塾	年間 (月1回程度)	各学園4~6年生を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。新規体験として一泊二日での防災キャンプを予定。	報償費35千円 需用費40千円 手数料1千円	義務教育学校4~6年生34名在籍 【活動日】 4/19 入塾式 22名 5/10 ふーりっぷフェア・ボランティア 23名 6/21 昆虫教室 21名 7/ 5 川釣り・川遊び体験 23名 9/27~28 防災キャンプ 18名 10/11 北見工業大学おもしろ実験教室 24名 11/15 凧・コマづくり 20名 12/20 クリスマスケーキ作り 33名 1/17 氷下釣り 28名 2/28 流水探検隊 24名 3/14 閉塾式 名 協力: ゆうべつアウトドアクラブYU-PAL 湧別町観光協会、北海道電力、北海道開発局 遠軽地区広域組合消防署、 北見方面遠軽警察署、北見工業大学 NPO法人まるせっぴ昆虫同好会	2-1 2-2 2-4
		町内ほか				
育	⑧湧別町・新篠津村友好都市少年交流事業	8/6(水)~8(金) 新篠津村(派遣)	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。各学園5~6年生およびリーダーとして各学園7~9年生・高校生も参加。各学園5~6年生は参加経費の半額、リーダー7~9年生は全額町負担。	報償費140千円 需用費10千円 報償費133千円	湧別町20名、新篠津村10名の小学校・義務教育学校及びジュニアリーダーのボランティア11名が参加。新篠津村にて仲間づくりレクリエーションや食事の調理などを通して交流を深めた。	2-1 2-2 2-4
	①青年団体の育成・援助	年間 青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円 補助金 160千円	4/22総会を開催。(10名) 5/17チューリップフェアイベント開催(13名) ※会員数 15名	3-1 3-2 3-3 3-4
教育	②令和8年20歳の集い	R8 1/11(日) 文化センター さざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現学園6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費430千円 需用費83千円 報償費320千円 需用費26千円	参加者: 57名 式典終了後、成人者を中心とした交流会を実施。記念品として道産材を使用した「箸」を令和3年度(R4.1.9「20歳の集い」)から継続して贈呈。併せて、記念写真を出席者へ送付している。	3-1
成人教育	①第49回湧別町民大学	9月~11月 全5回 文化センター TOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	運営費助成 2,000千円 運営費助成 2,000千円	■実行委員会議 6/5、8/7、2/5開催 ■第1回 9/16 荻原 博子氏 125名 ■第2回 9/27 菅生 好身氏 92名 ■第3回 10/ 7 杉谷 拳士氏 270名 ■第4回 10/29 山本 命氏 121名 ■第5回 11/21 坪田 敏男氏 110名 合 計 718名	4-1 4-2 4-3 4-4

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
成人教育	②PTA団体への援助	年間 —	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円 補助金 180千円	連合PTA事業運営費の補助を実施。	4-2 4-4
	③ボランティア団体との連携	年間 文化センター さざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	はまなすボランティアサークルの自主研修の活動支援として研修会の引率を行い活動のサポートをすることができた。 ■研修日程 6/10(火)9:00~16:00 ■研修場所 上川町 大雪酒造株式会社 他	4-2 4-4
高齢者教育	①チューリップ生きがい大学の開設	年間 (月1回程度) 文化センター さざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費241千円 需用費36千円 印刷製本費72千円 借上料524千円 報償費45千円 印刷製本費72千円 借上料242千円	●学生110名在籍 クラブ数9(卓球クラブ新設) 【学習会】 4/22 開講式 64名 5/13 健康講座 モルック 35名 6/17 日帰り研修会 網走市 43名 7/17 町内講師講演 大規模災害にふれて 31名 8/5 上湧別学園視察 34名 9/1~2 宿泊研修 東川町・旭川市 26名 10/16 町外講師講演 養蜂家の仕事 36名 11/13 芸術鑑賞 懐かしのレコード鑑賞会 31名 12/4 クラブ活動発表会 62名 1/16 映画観賞会 31名 「あの花が咲く丘で君とまた出会えたら」 3/4 開講式・お楽しみ交流会 71名 文集「生きがい」第7号発行	5-1 5-2 5-3 5-4
	②世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間 学校ほか	学校からの求めに応じ、小・義務教育学校、中学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—		
	③アクティブシニア向け事業	年間 文化センター さざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがい大学の繋がりが強化を図る。	報償費288千円 報償費56千円	○短期大学事業 ◆新聞紙作成(第1期) 第1期 4/16,4/30,5/14,5/28,6/11,6/25 4名 ◆みんなで楽しむ合唱(第2期) 第2期 7/9,8/6,9/10 3名 ◆シニアスマホ講座(第3期) 第3期 10/23,11/4,11/18,12/9,12/23 10名 ◆お菓子作り講座(案)(第4期~) 第4期 1/21,2/18,3/18 9名	
④いろいろな触ってみよう!スマホ教室	11/25(火) 26(水) 文化センター さざ波ほか	デジタル活用向上のためスマートフォン教室を開催する。 ①スマートフォンを安全に使うためのポイント ②デジタルリテラシーを身につけて安心・安全にインターネットを楽しもう	自治体負担なし 総務省「デジタル活用支援推進事業」	11月25日(火) 午前の部 文化センターさざ波 4名 午後の部 文化センターTOM 中止 11月26日(水) 午前の部 上湧別農村環境改善センター 5名 講師: 桑原電送(株) ドコモショップオホーツク店 八重樫 亜有子氏		
社会教育委員	①社会教育委員研修	随時 管内 道内	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 管内社会教育委員連絡協議会 北見市端野町 北海道市町村社会教育委員長等研修会 札幌市 遠軽・紋別地区社会教育委員研修会 遠軽町 北海道社会教育研究大会 今金町 管内社会教育振興セミナー 津別町 地域生涯学習実践活動交流セミナー 札幌市	社会教育委員 報酬141千円 費用弁償 160千円 社会教育委員 報酬112千円 費用弁償 135千円	・5/9(金)北見市端野町 オホーツク管内社会教育委員連絡協議会 (深谷委員長、事務局1名出席) ・7/7(月)~8(火)札幌市 北海道市町村社会教育委員長等研修会 (山本副委員長、事務局1名出席) ・10/4(土)遠軽町 遠軽地区社会教育委員等研修会 (毛利委員、米本委員、事務局1名出席) ・11/7(金)今金町 第64回北海道社会教育研究大会(檜山大会) (田淵委員、神尾委員、事務局2名出席) ・11/29(土)津別町 オホーツク管内社会教育振興セミナー (深谷委員長、杉原委員、菅原委員、事務局1名出席) ・2/26(木)~27(金)札幌市 地域生涯学習実践活動交流セミナー (菅原委員、事務局1名出席)	10-5

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
芸	①文化団体の育成援助	年間	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	加盟団体24団体を擁し、湧別町文化連盟として活動。総合文化祭などの文化活動を展開する。令和7年度においては、展示部門を10/4～5の2日間開催。芸能部門を10/19に開催。	6-2 6-4
		—		補助金 300千円		
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年間 文化センター TOM・さざ 波	良いもの見よう聞こう会等の活動支援	補助金 10,000千円 補助金 9,804千円	①良いもの見よう聞こう会 2公演 ②ゆうべつ活性化委員会 2公演	6-1 6-2 6-4
文	③キッズアート鑑賞会	7/22(水) 10:00-	幼児対象 公演内容 めっきらもつきらどおんどん	公演料 500千円	劇団風の子～「めっきらもつきらどおんどん」 ■日時：7/22 10:00～ ■場所：文化センターさざ波多目的ホール ■観覧者数：児童 129名 保育士16名 一般観覧者0名 合計145名	6-1
		文化センター さざ波	公演料 495千円			
	④ジュニアアート鑑賞会	9/25(木) 10:00-	前期課程全学年対象 公演内容 ホラネロコンサート	公演料 500千円	ホラネロコンサート ■日時：9/25 10:00～ ■場所：文化センターさざ波大ホール ■観覧者数：児童 300名 教員40名 合計340名	6-1
		文化センター さざ波	495千円			
	⑤ティーンズアート鑑賞会	9/11(木) 10:00-	後期課程全学年対象 公演内容 楽！らくごライブ	公演料 1,000千円	楽！らくごライブ ■日時：9/11 10:00～ ■場所：文化センターさざ波大ホール ■観覧者数：生徒 131名 教員29名 合計160名	6-1
文化センター さざ波		495千円				
活	⑥文化芸術作品等の奨励	年間	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	(1)文化センターさざ波ギャラリー展示 ①5/12～25 折野勝「湧別の自然風景・地域の名所展」43名 ②6/24～7/6 亀岡トモ子・吉田妙子「二人展」224名 ③10/8～10/26 楽々絵手紙の会「絵手紙展」204名 ④11/20～11/30 アトリエ川西「絵画展」87名 ⑤12/13～21 伊藤英二「水彩画展」325名 ⑥12/23～1/18 上湧別学園アトリエカミュ「はじめてまし展」134名 ⑦2/5～17 ばすてる「2026作品展」61名 (2)文化センターTOMギャラリー展示 常設展示～写真、俳句、友好都市交流	6-2 6-3 6-4
		文化センター TOM・さざ 波				
の	⑦カルチャー教室	年間	子どもから大人までを対象に興味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	①<子ども>夏休み子ども木工教室 ■日時：8/5 9:00～ ■場所：老人憩いの家木工室 ■参加者数：11名 ②<子ども>e-スポーツプログラミング体験「MINECRAFT」 ■日時：12/21 9:00～ ■場所：文化センターTOM ■参加者数：14名 ③<子ども>シルクスクリーンワークショップ ■日時：1/25 13:00～ ■場所：文化センターTOM ■参加者数：15名 ④<一般>ブタナッツワークショップ ■日時：3/15 10:00～ ■場所：文化センターTOM ■参加者数： 講師謝礼 50千円	6-1
		町内施設				
大	①第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/29(日)	100kmスタート午前5時00分(100kmの部) 総合体育館裏(東道路上) ※40回記念大会として実施	負担金 3,000千円 負担金 3,000千円	100kmの部 出走者数3,343名 完走者1,952名 完走率58.4% 50kmの部 出走者数 515名 完走者 396名 完走率76.9%	9-1 9-2 9-3 9-4
		湧別総合体育館裏				
の	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2025」	10/11(土)～12(日)	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,874千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,174千円 歳出総額 3,376千円	従来どおりの組織体制や運営体制の確保が困難となったため、今年度は中止。	9-1 9-2 9-3 9-4
		湧別総合体育館		—		

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
大会の開催等	③第50回 町民300歳 バレーボール大会	12/7(日) 中湧別総合体育館・湧別総合体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会 ※50回記念大会として実施	消耗品195千円 食糧費33千円 消耗品97千円 食糧費11千円	6チーム 90名参加 優勝：錦・登栄床チーム 準優勝：屯市Bチーム 3位：屯市Aチーム、南町チーム	9-1 9-2 9-3 9-4
スポーツ教室	①夏の短期水泳初級教室	8/6(水)~8(金) 湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及と拡大を図る。 講師：藤田 千秋 (トッカリ湧波会) 小橋 百合香 (スポーツ推進委員) 対象：各学園1~3年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員報酬7千円 スポーツ推進委員報酬10千円	「全く泳げない子」や「顔に水をつけるのが怖い子」などの初級者を対象に実施した。 初級者の中でも、参加者のレベルに合わせてグループ分けを行い、1年生~3年生までの28名が参加。 8/6~8：延べ65名	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ニューススポーツdeあそび「モルック大会」	9/13(土) 中湧別屋内ゲートボール場	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。アクティブチャレンジ期間中に合わせてモルック大会を実施する。 指導者：スポーツ推進委員 対象：町内に在住の方	スポーツ推進委員報酬32千円 スポーツ推進委員報酬32千円	今年度はゆうべつアクティブチャレンジの一環として「モルック大会」を行った。モルックを通して、子どもから高齢者までを対象に世代を超えたコミュニケーションづくりを目的として実施した。 参加チーム：18チーム 延べ54名 ※指導者 スポーツ推進委員5名	
	③ジュニアスケート教室	R8 1/6(火)~8(木) 芭露スケートリンク	町内の各学園(1~6年生)に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保 拓也(芭露) 松本 桃子(スポーツ推進委員) 藤本 祐司(教委職員) 三浦 茉畝(教委職員) 対象：各学園1~6年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員報酬10千円 講師謝礼 9千円 スポーツ推進委員報酬10千円	3つのレベルに分け、それぞれのグループで基本的な姿勢や滑り方を学び、技術の向上が図られた。また、今年度から目的・目標をもって教室に参加してもらえるよう「チャレンジスケート検定」を行い、1級から5級を目指し検定を受けてもらった。 1/6(火)28名、1/7(水)25名、1/8(木)24名	
	④運動・トレーニング指導	4月~3月 湧別総合体育館ほか	町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。今年度より「ゆうふいっと。」と事業名を定め、町民への認知度を深めるとともに参加者の増加に努める。また、「ゆうふいっと。プラス」として夜にも開催し若年層への参加も促していく。新たに「水中エクササイズ」を実施し、水中で正しい運動方法や体力づくりを図るとともに、湧別プールの利用促進に努める。 ■ゆうふいっと。 ・開催回数：月3回 ・講師：三浦 茉畝(教委職員) ■ゆうふいっと。プラス ・開催回数：月1回 ・講師：外部委託 ■水中エクササイズ ・開催回数：2回(9/30、10/14) ・講師：三浦 茉畝(教委職員)	委託料 501千円 委託料 347千円	幅広い年齢層の参加があり、参加者に合わせたトレーニングを実施している。 「ゆうふいっと。」 ■4/3 29名、4/10 9名、4/17 26名 ■5/16 20名、5/22 8名、5/29 19名 ■6/5 3名、6/19 8名、6/11 中止 ■7/3 16名、7/10 中止 ■8/6 5名、8/20 中止、8/28 11名 ■9/4 10名、9/9 中止、9/26 9名 ■10/2 12名、10/8 4名、10/30 11名 ■11/12 6名、11/19 中止、11/27 14名 ■12/11 13名、12/19 5名、12/24 12名 ■1/14 13名、1/21 7名、1/29 18名 ■2/5 中止、2/18 6名、2/26 中止 ■3/4 中止 「ゆうふいっと。プラス」 ■5/21 15名 ■6/4 15名 ■7/2 12名 ■8/13 7名 ■9/10 11名 ■10/15 6名 ■11/12 9名 ■12/17 6名 ■1/7 10名 ■2/18 16名、2/25 38名 水の抵抗を利用した運動や水中ウォーキングの実践により、効果的な運動方法を習得することができた。 「水中エクササイズ体験」 ■9/30 3名、10/14 3名	

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
スポーツ教室・講習会事業	⑤湧別町・レバンガ北海道スポーツ推進事業	4月～3月	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。	委託料 2,574千円	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。 (1) 上湧別学園訪問 ■日 時 7/4(金)10:30～13:10 ■対 象 上湧別学園5.6年生 (2) バスケットボール教室 ①4/12(土)湧別総合体育館 ・10:00～12:00 湧別ミニバス少年団22名 ・13:00～15:00 ゆう・上湧学園バスケット部13名 ②5/24(土)湧別総合体育館 ・10:00～12:00 ゆう・上湧学園バスケット部17名 ・13:00～15:00 湧別ミニバス少年団20名 ③8/1(金)湧別総合体育館 ・9:00～11:00 ゆう・上湧学園バスケット部20名 湧別高校バスケット部5名 ④11/16(日)中湧別総合体育館 ・13:00～15:00 湧別ミニバス少年団28名 ⑤11/22(土)湧別総合体育館 ・13:00～15:00 ゆう・上湧学園バスケット部18名 ⑥12/6(土)湧別総合体育館 ・10:00～11:30 チャレンジスポーツスクール 23名 ・13:00～15:00 ゆう・上湧学園バスケット部24名 湧別高校バスケット部5名 ⑦2/28(土)湧別総合体育館 ・13:00～15:00 湧別ミニバス少年団15名	9-1 9-2 9-3
		湧別総合体育館ほか	予定事業 ①ミニバス少年団、各学園・湧別高校バスケットボール部の定期巡回指導 ②学校授業訪問や町主催事業への参加	委託料 770千円		
スポーツ推進委員事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	各学園(1～3年生)を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室(上湧別百年記念公園広場) 6月 器械体操(ゆうべつ学園) 8月 キャンプ(湧別総合体育館裏) 9月 五鹿山マラソン(五鹿山スキー場) 10月 タグラグビー(湧別総合体育館) 11月 バスケットボール1(湧別総合体育館) 12月 バスケットボール2(湧別総合体育館) 1月 スケート体験・氷上ホッケー(芭露スケートリンク) 2月 バドミントン(湧別総合体育館) 3月 ミニ運動会・卒業式(湧別総合体育館) 指導者:スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象:各学園1～3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 かけっこ教室 15千円 タグラグビー 5千円 バドミントン 5千円 スポーツ推進委員報酬268千円	義務教育学校1～3年生55名 スポーツ推進委員が中心となり、様々なスポーツを実施した。 5/17(土) 入学式・かけっこ教室 35名 6/21(土) 器械体操 34名 8/1(金)～8/2(土) キャンプ 37名 9/7(土) 五鹿山マラソン 23名 10/18(土) タグラグビー 24名 11/8(土) バスケットボール1 22名 12/17(土) バスケットボール2 23名 1/14(土) スケート体験・氷上ホッケー 21名 2/14(土) バドミントン 22名 3/7(土) ミニ運動会・卒業式 22名	9-1 9-2 9-3
		湧別総合体育館ほか	講師謝礼 かけっこ教室 15千円 器械体操 20千円 タグラグビー 5千円 バドミントン 5千円 スポーツ推進委員報酬227千円			
スポーツ推進委員事業	②巡回スポーツ指導	随時	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、軽スポーツやレクリエーションの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円		9-2 9-3
		町内				
スポーツ推進委員事業	③スポーツ推進委員研修	随時	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 湧別町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 湧別町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 岩内町	スポーツ推進委員報酬218千円 費用弁償 91千円 スポーツ推進委員報酬135千円 費用弁償 59千円	①オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会 ■日程:5/13(金) ■場所:清里町 ■参加:石川委員長、事務局1名 ②北海道スポーツ推進委員研究協議会 ■日程:10/11(土)岩内町 ■場所:岩内町 ■参加:石川委員長、海谷委員、事務局1名 ③オホーツク管内社会体育振興セミナー兼遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会 ■日程:11/15(土)～16(日) ■場所:湧別町 ■参加:スポーツ推進委員 10名	9-2

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
団体 活 動 の 育 成 援 助 等 施 設 の 整 備 活 用 そ 他	①少年スポーツ団体の育成援助	年間	少年団本部への補助	補助金600千円	湧別町スポーツ少年団本部への補助	9-2 9-4
		-		補助金600千円		
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間	体育協会への補助	補助金671千円	湧別町体育協会への補助	
		-		補助金671千円		
③大会出場 助成	年間	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 (湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金 2,000千円 補正4,400千円	20件(個人15件、団体5件)	9-2	
	-		補助金 5,071千円			
④合宿誘致 助成	年間	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,854千円	1件 別紙関連事業のとおり	9-1	
	各施設		補助金101千円			
①施設の整備	年間	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4	
	各施設					
②施設の活用	年間	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 60千円	団体数：2団体 ・屯市体育部(300歳バレー練習)6日 ・教育委員会(チャレンジスポーツスクール)1日 使用日数：合計7日間	9-4	
	各施設					
①スポーツ安全保険の加入促進	随時	広報周知等インターネット(スポあんネット)にて加入する。	手数料1千円	ホームページやかわらばん等において周知し、保険の加入促進を図った。	9-2	
	-		手数料1千円			
図書館 活 動	①図書館資料の収集、整理、保存	年間	両館を特徴付けた選書を行い、それぞれに蔵書を区分し保存する。 ・資料等計画的に幅広く豊富に備え、適切な蔵書構成を維持する。 ・貴重資料のデジタル保存 ○図書館システム機器更新	資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 8,000千円 資料費(図書、雑誌、新聞、視聴覚) 6,850千円	<蔵書冊数> ・図書 R7 中湧別 80,447冊 湧別 73,192冊 合計 153,639冊 ・雑誌 R7 中湧別 57誌 湧別 46誌 ・新聞 R7 中湧別 7紙 湧別 4紙 ・視聴覚資料 R7 中湧別 1,029点 湧別 1,743点 合計 2,772点 ・デジタル化 R7 中湧別 0点 湧別 2点 ・図書館システム機器更新 R7 中湧別 令和7年8月20日 更新 湧別 令和7年8月19日 更新 R6 中湧別 78,522冊 湧別 71,242冊 合計 149,764冊 R6 中湧別 57誌 湧別 47誌 R6 中湧別 8紙 湧別 5紙 R6 中湧別 1,022点 湧別 1,740点 合計 2,762点 R6 中湧別 0点 湧別 0点	7-1

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
書	②利用促進、読書機 会の提供	年間	調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。		<ul style="list-style-type: none"> 開館日数 R7 中湧別 248日 湧別 248日 来館者数 R7 中湧別 8,270人 湧別 4,377人 合計 12,647人 貸出人数 R7 中湧別 4,816名 湧別 2,686名 合計 7,502名 貸出冊数 R7 中湧別 19,617冊 湧別 9,830冊 合計 29,447冊 	7-2
			<ul style="list-style-type: none"> インターネットによる情報発信を行う。 デジタル資料の公開 事業のお知らせ 司書によるおすすめ本の紹介(新着図書案内) 図書館だより 児童向け情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更新 図書館だよりの更新 新着図書案内の更新(月2回発行) とじよかんだより(児童向け) 		
			宅配貸出サービス(月2回) ・来館が困難な町民に対して個別に配送貸出を実施	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 R7 (9名) R6 (1名) 貸出実績(会員制/月1回宅配) R7 59名 275冊 R6 21名 104冊 		
		両館	<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカード連携の啓発 現行図書館システムの利用者番号とマイナンバーカードを連携することにより、マイナンバーカードでも図書等の貸出が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 登録者数 R7 (20名) R6 (9名) 実績(延べ数) R7 貸出人数 155名 貸出冊数 506冊 運用開始日 R7 運用中 R6 令和6年9月4日開始 		
活	③ブックスタート	年間	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート(月1回) 絵本2冊と手作りバックの配布 4ヶ月児対象 健診時に絵本とバックをメッセージと共に配布 ブックスタートプラス(年2回) 絵本1冊とブックガイドの配布 5~6歳児対象 就学時健診時に絵本とブックガイドを配布 協力(バック) ルピナスの会(バック本体) 湧別高校ボランティア部(名札) 	資料費(絵本) 142千円	<p><ブックスタート></p> <ul style="list-style-type: none"> 実績(延べ数) R7 30名 R6 21名 R7 4月 なし R6 4月 なし 5月 4名 5月 3名 6月 5名 6月 1名 7月 5名 7月 3名 8月 3名 8月 2名 9月 3名 9月 3名 10月 1名 10月 2名 11月 3名 11月 4名 12月 2名 12月 2名 1月 4名 1月 1名 	7-2
		健診会場		資料費(絵本) 142千円	<p><ブックスタートプラス></p> <ul style="list-style-type: none"> R7 保健ワカ- 19名(10/7) コミセン 26名(10/15) R6 保健ワカ- 22名(10/1) コミセン 20名(10/9) 	
動	④絵本くらぶ	年間	絵本の宅配(月1回) 3歳までの乳幼児がいる家庭に おすすめ本セットを宅配(登録制)		<p><絵本くらぶ></p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者(会員制/月1回宅配) R7 14名 R6 18名 貸出実績(延べ数) R7 139名 695冊 R6 164名 820冊 R7 4月 14名 70冊 5月 14名 70冊 6月 14名 70冊 7月 14名 70冊 8月 14名 70冊 9月 14名 70冊 10月 14名 70冊 11月 14名 70冊 12月 14名 70冊 1月 13名 65冊 R6 4月 15名 75冊 5月 15名 75冊 6月 15名 75冊 7月 15名 75冊 8月 16名 80冊 9月 17名 85冊 10月 17名 85冊 11月 18名 90冊 12月 18名 90冊 1月 18名 90冊 	7-3
		両館				

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
書	⑤移動図書館車の運行	年間	<ul style="list-style-type: none"> 移動図書館車で町内を巡回し、広域サービスを実施する。機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 児童、生徒、職員等が乗車して利用する以外に、一部ステーションでは図書館職員が選本したセット配本を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 乗車(延べ数) R7 450名 1,893冊 R6 613名 2,994冊 	7-3
		両館	<ul style="list-style-type: none"> 〈ステーション〉 認定こども園、保育所 3か所(年8回) 児童センター 5か所(年8回又は年4回) 子育て支援センター 1か所(年8回) 学校 3か所(年8回) 		<ul style="list-style-type: none"> 4月巡回なし(準備期間) 4月巡回なし(準備期間) 5月 47名 243冊 5月 99名 458冊 6月 60名 279冊 6月 99名 314冊 7月 66名 259冊 7月 90名 365冊 8月 8名 43冊 8月 9名 185冊 9月 54名 262冊 9月 80名 363冊 10月 69名 308冊 10月 62名 440冊 11月 67名 252冊 11月 81名 367冊 12月 79名 247冊 12月 88名 342冊 1月 巡回なし 1月 5名 160冊 	
館	⑥学校図書館支援	年間	<ul style="list-style-type: none"> クラス配本 学校図書館用図書の購入支援 学校図書館レイアウト相談 学校図書館蔵書管理、蔵書計画 図書館見学の受入 職場体験の受入 読書オリエンテーション 家読おすすめ絵本リスト作成配布 読書通帳の提供 		<ul style="list-style-type: none"> クラス配本 5月配本開始、年8回配本(5月、6月、7月、9月、10月、11月、12月、2月) 配本セット4種(1-2年生、3-4年生、5-6年生、7-9年生) 各1セット20冊、特別支援学級1セット10冊 学校図書館用図書の購入支援、蔵書管理支援 5月~2月 各学校の選書、発注、データ作成を支援 図書館見学 5月 芭露学園1-2年生 18名 6月 上湧別学園1年 22名 上湧別学園2年 29名 9月 職場体験 湧別高校2年 2名 12月 ゆうべつ学園2年 14名 職場体験 9月 湧別高校 2名 読書オリエンテーション 10月 45名(詳細はブックスタートプラス事業に記載) 	
		町内学校				
活	⑦古本コーナー	年間	<ul style="list-style-type: none"> 古本、古雑誌のリサイクル活動。 		<ul style="list-style-type: none"> 実績(延べ数) R7 中湧別 446名 1,352冊 R6 中湧別 401名 1,006冊 湧別 277名 1,152冊 湧別 390名 1,799冊 合計 723名 2,504冊 合計 791名 2,805冊 	
		両館				
動	⑧特別展示	4月~5月	<ul style="list-style-type: none"> こどもの読書週間特別展示 		<ul style="list-style-type: none"> 中湧別図書館 4/10~5/31 「なりきりおすしやさん」 湧別図書館 4/25~5/31 「児童図書ランキング」 6/21~9/28 「なりきりおすしやさん」 	7-2 7-3
		10月 中湧別図書館	<ul style="list-style-type: none"> 絵本原画展示(遠軽紋別地区公共図書館共同事業) 	<ul style="list-style-type: none"> 著作物使用料 35千円 著作物使用料 33千円 	<ul style="list-style-type: none"> 中湧別図書館 10/4~10/18 「おとうさんのこわいはなし」(かとうまふみ/作・絵) 	
		9月~11月 両館	<ul style="list-style-type: none"> 町民大学講師著作展示 		<ul style="list-style-type: none"> 町民大学講師著作本展示 9/3~11/30 講師関連本紹介 	
		10月~11月 両館	<ul style="list-style-type: none"> 秋の読書週間特別展示 		<ul style="list-style-type: none"> 中湧別図書館 11/4~12/7 「おばけやしき in 中湧別図書館」 湧別図書館 10/26~11/30 「文芸エクラ大賞2025」紹介展示 1/6~2/8 「おばけやしき」 	
		年間 両館	<ul style="list-style-type: none"> テーマ:年中行事 		<ul style="list-style-type: none"> テーマ展示 年中行事展示 	
		年間 両館	<ul style="list-style-type: none"> 協力展示(展示スペースの貸出) 		<ul style="list-style-type: none"> 中湧別図書館 6/27~7/8 「教科書展示」(教育総務課) 	

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
図書館	⑨連携・ネットワーク	年間	・読み聞かせ活動ボランティア団体 読み聞かせサークル「りんごっこ」 リーディング倶楽部たんぼぼ 湧別高校ボランティア部 ・読み聞かせ等活動支援 ゆうべつ学園「朝の読み聞かせ会」 (リーディング倶楽部たんぼぼ) 中湧別図書館読み聞かせ会 (りんごっこ、湧別高校ボランティア部) ・その他		・リーディング倶楽部たんぼぼ 毎週水曜日 ゆうべつ学園 1～6年生「朝の読み聞かせ会」 毎週水曜日 本の修理ボランティア ・りんごっこ 月2回土曜日 中湧別図書館「読み聞かせ会」 ・湧別高校ボランティア部 月2回土曜日 中湧別図書館「読み聞かせ会」 壁画制作(中湧別図書館おはなしコーナー設置) ・ルピナスの会 ブックスタートバックの提供 20周年(R9年度)を迎えるまでバック製作を継続する。	7-3
		会議3回 研修1回	図書館協議会 ・定例会議 3回 ・委員視察研修(町内学校図書館)	図書館協議会 委員報酬 80千円 費用弁償 8千円 図書館協議会 委員報酬 16千円 費用弁償 2千円	・図書館協議会委員 5名 6/3 第1回図書館協議会会議 5名出席 11/26 第2回図書館協議会会議 4名出席 1/15 委員視察研修(町内学校図書館) 4名出席 2/28 委員1名解任 3/3 第3回図書館協議会会議 3名出席	
		湧別図書館				
		7月～9月	・北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」 キャンペーン参加		・「青少年のための200冊」等展示(両館) ・キャンペーン読書期間 7/26～8/24 ・事前登録者 11名 (内訳 中湧別 9名 湧別 2名) ・達成者 8名 (内訳 中湧別 4名 湧別 4名)	
文化財保護	①文化財の保護(1) 埋蔵文化財	年間	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認(遺跡パトロール) ・周知資料(台帳等)の整備 ◎シブノツナイ竪穴住居群の調査報告書 ・総括報告書の発行(3月下旬) ○シブノツナイ竪穴住居群の史跡範囲変更 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催	印刷製本費 2,145千円	○開発行為に伴う埋蔵文化財包蔵地の保護活動 ・埋蔵文化財包蔵地の照会:8件 ・事前協議2件(過年度継続協議、他4件) ・所在調査2件 ・試掘調査3件 ・工事立会0件、慎重工事0件 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認作業(遺跡パトロール)随時実施 ・周知資料(台帳等)の内容確認と修正 ◎シブノツナイ竪穴住居群の保護 ・発掘調査総括報告書の発行(3/20) ・道史跡範囲の変更準備(面積測量) ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 第一回:9/25 委員3名、町教委2名、 オブザーバー2名(道教委1名、文化庁1名) 第二回:1/28 委員3名、町教委2名、 オブザーバー1名(道教委1名)	8-1
		町内各所				
		年間	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続(死亡・はく製・調査) ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		○(道指定)天然記念物 ・佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落 経過観察:9月実施 ○(国指定)天然記念物 ・オジロワシ ・タンチョウ 手続(死亡・はく製・調査):0件	
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		○博物館資料の寄贈受入 ・寄贈資料受入11件(屯田関係資料ほか) ○文化財の認定と取得 ・埋蔵文化財の譲与申請:1件 令和6年度発掘調査出土資料	8-2
		年間	○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ・試掘調査等出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 ・文書資料の整理 ・資料外保管物の処分 ・資料移動(旧邑小体育館等) ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		○考古資料 ・シブノツナイ竪穴住居群出土資料の整理 ○開拓関連資料 ・保存環境の整備 ○収蔵庫の管理と保管資料の状況確認 ・JRY収蔵量増加 ○収蔵資料の特別利用許可 ・3件(湧別市川遺跡出土資料ほか)	

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
博物館活動	③博物館資料 (3)展示	年間 郷土館・ふるさと館JRY	○郷土館 ・企画展：発掘調査速報展（仮） ○ふるさと館JRY ・常設展示更新：解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備		【郷土館】 ○展示 ・「令和6年度発掘調査速報展」 6/27（金）～12/26（金） ○入館者数（2/20時点） ・524名（大人431名、内町民26名、幼児～高校93名、内町民80名） 【ふるさと館JRY】 ○常設展示更新 ○入館者数（2/20時点） 2,429名（大人1,858名、内町民167名、小学～高校571名、内町民189名）	8-2
	④調査研究	年間 —	【博物館資料（開拓期）の調査・関連事項の研究】 ・開拓期の衣食住 ・兵制度 ・冬季の生活 【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】 ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 ・シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 ○自然科学分析（シブノツナイ関係） ・古環境復元、食性解明の自然科学分析 ○教材研究 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他（大学等研究者との共同研究） ・北海道大学考古学研究室の発掘等調査支援（2年目） 対象遺跡：川西オホーツク遺跡		【博物館資料（開拓期）の保存・活用】 ○保存 ◎屯田資料 ・収蔵資料の保存に関する調査研究（害虫等） ・資料清掃および注記 ○活用 ・体験活動の系統化 ・開拓期の衣食住 ・冬季の生活 【埋蔵文化財、博物館教育】 ○事例研究 ・シブノツナイと道内竪穴住居群の比較 ○自然科学分析（シブノツナイ関係） ・古環境復元 岡孝雄（北海道総合地質学研究所） ・年代測定と食性分析 國木田大（北海道大学准教授） ・土器圧痕分析 太田圭（東京大学助教） ・黒曜石産地推定 大塚宣明（札幌学院大学准教授） ○教材研究 ・遺跡散策ガイドブック『遺跡のミカタ』の更新 ・シブノツナイ竪穴住居群案内パンフの改訂版 ○調査支援 ・北海道大学考古学研究室の発掘調査 対象遺跡：川西オホーツク遺跡の調査 調査期間：8/12～19（3年計画の内、2年目）	8-2
	⑤博物館教育(1) 学校授業・研修会・講座	年間 郷土館・ふるさと館JRY	【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 （道具の変遷や機能の紹介） ・労働体験（鋸・斧・鉋） ・開拓期の衣体験 ・屯田生活体験館の活用 ○先史文化 （文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供） ・先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習 （土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク （主に学校授業、シブノツナイを対象） ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） *各種調査、報告書作成に伴う成果速報	講師謝礼 70千円	【学校授業、研修会等の学習機会提供】 ○授業及び展示解説実績（2/20時点） ①ふるさと館JRY 37件665名（内学校：19件337名） ②郷土館 4件99名（内学校：1件19名） ③出張講演 9件262名（内学校：7件231名） ④施設利用 8件362名 【講座等】 （協力） ○遠紋地区議会議事会 日時：7/24 会場：ふるさと館JRY 人数：約80名 講師：ふるさと館JRY 館長 中島一之 （主催） ○令和7年度遺跡調査報告会 日時：11/1 会場：ふるさと館JRY 人数：30名 講師①東京大学 教授 熊木俊朗 講師②ふるさと館JRY 学芸員 林勇介	8-3

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について

領域	事業名	期日 場所	計画内容	予算額 実績額 (事業終了分のみ)	実績(状況)等	中期計画 推進項目
博物館活動	◎博物館教育(2) 広報・情報提供	年間 -	【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行(湧く湧く内、HP) ○郷土史に関する情報提供及び質問対応(レファレンス)		【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行(湧く湧く内)4~3月号(184号~195号) ○郷土史に関する質問対応 ・屯田兵祖先調べ、町内の遺跡など	8-3

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について 関連事業（後援・連携事業）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
青少年指	子ども会フットベースボール交流会	7/6（日）	中湧別ゲートボール場	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。	参加人数に応じてチーム編成を行い、交流会として、地区対抗戦や地区混合戦を実施。参加人数12名。	
	子ども会リレー駅伝大会	10/5（日）	上湧別百年記念公園		集まった26名を4チームに分けて実施。上湧別百年記念公園を15周（約7.5km）	
	子ども会ミニバレーボール大会	11/9（日）	中湧別総合体育館		ジュニアの部（33名）8チーム ティーンズの部（17名）4チーム	
	子ども会リーダー研修会	(夏) 7/26(月)~27(火) (冬) R8.3/28(土)~29(日)	五鹿山公園 紋別生涯学習センター		社会教育事業 少年教育参照	社会教育事業 少年教育参照
オンタ	ジュニアリーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、義務教育学校後期課程・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。	青少年指導員：3名 ジュニアリーダークラブ 「CAPTAIN★TEENS」：16名登録 「Rainbow prop」：2名登録 ●第1回子ども会リーダー研修会に係る企画会議3回実施 (5/11、5/31、7/13) ※7/26~27第1回子ども会リーダー研修会（五鹿山） ●第2回子ども会リーダー研修会に係る企画会議3回実施 (11/16、12/28、3/7)	
		年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年日より発行 ④優良青少年表彰	①あいさつ運動②街頭補導③青少年日より発行④優良青少年表彰	補助金 400千円
文化連盟	総合文化際	展示の部 10/4(土)5(日) 芸能の部 10/26(日)	文化センターTOM(展示) 文化センターさざ波(芸能)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。	■展示発表会 10月4日(土)~5日(日) 文化センターTOM ■芸能発表会 10月19日(日) 文化センターさざ波	
ゆうべつ活性化実行委員会 良いもの見よう聞こう会	芸術鑑賞会	9/28(日) 19:00	文化センターさざ波	相川七瀬SPECIAL LIVE2025	■日程 9月28日(日)17時開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 375枚 ■入場者数 366名	
		11/8(土) 19:00	文化センターさざ波	半崎美子明日を拓くコンサート2025	■日程 11月8日(土)19時開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 357枚 ■入場者数 346名	
		8/10(日) 15:00	文化センターさざ波	立川春の輔・柳亭小痴楽二人会	■日程 8月10日(日)15時開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 313枚 ■入場者数 310名	
		R8. 2/15(日) 14:00	文化センターさざ波	演劇ONEOR8「ママごと」公演	■日程 2月15日(日)14時開演 ■場所 文化センターさざ波 ■売上枚数 138枚 ■入場者数 134名	
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2025	9/7(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の変な一体感の醸成を図ることを目的とする。	小学生1年生の部 11名 小学生2年生の部 6名 小学生3年生の部 8名 小学生4年生の部 2名 小学生5年生の部 2名 小学生6年生の部 3名 中学生の部 1名 高校生の部 19名 一般の部 12名 団体の部（4チーム） 12名 合計 76名	教委、スポーツ推進委員も運営協力

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について 関連事業（後援・連携事業）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等	実績（状況）等	備考
スケート協会	第56回湧別町スケート大会	R8. 1/31(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、前期課程、後期課程、一般、アトラクション（宝さがし）	未就学児 2名、前期課程36名、後期課程3名、一般18名 合計59名	
実行委員会	ゆうべつアクティブチャレンジ2025	9/6(土)~13(土)	町内	笹川スポーツ財団主催である住民総参加型のスポーツイベント「アクティブチャレンジ」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。	■実施プログラム 61団体 3,185名 ■利用施設 17施設 3,018名 ■電話・電子報告 359名 計 6,562名	
	【新規】稚内高校吹奏楽部合宿	7月	文化センターさざ波	吹奏楽合宿のほか、町内の中学校、高校と合同での演奏会などを開催することで、吹奏楽の普及を図るとともに他生徒との交流を図る。	全道大会の当番校の時期と重なったため中止。	
	駒澤大学合気道部合宿	8月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定	日程調整の都合がつかず中止。	
	【新規】合気道木下道場合宿	9/9(火)~12(金)	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：10名予定	合宿人数7名	
	北柔会道場湧別合宿	10月	湧別武道館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定	例年、柔道大会終了後に合宿を実施していたが、大会が中止になったため、合宿も中止。	
会	第40回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会	R8. 2/22(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km	原野コースは雪不足のため中止となった。 【24kmコース】 ・出走者 409名 ・完走者 408名 ・完走率 99.76% 【10kmコース】 ・出走者 57名 ・完走者 56名 ・完走率 98.25% 【駅伝コース】 5チーム 完走5チーム	

報告第1号 令和7年度社会教育事業実績、反省評価について
 社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	実績額	備考
上湧別農村環境改善センター	多目的ホール輻射暖房機改修工事	3,830	3,663	6月補正
文化センターTOM	外壁（西側）改修工事	18,100	17,600	
	照明LED化工事	29,700	29,106	
文化センターさざ波	空調自動制御機器ダンパー操作器取替修繕	1,090	1,089	
湧別プール	鉄骨塗装工事	8,740	7,942	
湧別武道館	照明LED化工事	1,960	1,859	
中湧別屋内ゲートボール場	照明LED化工事	5,150	5,115	
芭露パークゴルフ場	乗用芝刈機購入	2,300	1,870	
五鹿山スキー場	圧雪車修繕	2,610	2,602	9月補正
湧別図書館 中湧別図書館	図書館システム購入事業	5,360	38	備品譲渡割賦金 R7 38千円 R8 1,406千円 R9 1,388千円 R10 1,371千円 R11 1,364千円
湧別図書館	温水暖房修繕（R6保守点検時指摘5箇所）	960	957	
ふるさと館JRY	芭露収蔵庫屋根修繕	583	528	

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
基 盤 整 備	①生涯学習情報の 収集・提供・相談 体制の充実	年間	—	○情報収集と提供 ・生涯学習情報紙「もっと!!湧く湧く」の発行（2カ月に1回） ※R8年度より2か月分のお知らせ情報を中心に発行する。 ・遠軽地区情報紙「なな・なんと情報」の発行（3カ月に1回） ・町ホームページによる情報の体系的整理と提供 動画による事業記録を収集し活用法を模索 ○相談体制の充実 ・生涯学習に関する相談体制の整備に努める。 ○Instagramによる事業周知 ・これまで事業実施のお知らせを中心に行っていたが、R8年度より事業報告についても周知する。	「湧く湧く」 印刷製本費 1,901千円	10-1 10-3
	②指導者の発掘・ 養成・活用	年間	—	主体的な学習と地域貢献との好循環をすすめるため、様々な分野から指導者を発掘養成し、その活用を図る。	—	
	③団体活動の支 援・育成	年間	—	団体リーダーの養成を図るとともに、団体活動が円滑に行われるよう支援を行う。	—	10-4
	④生涯学習振興奨 励事業	年間	—	グループ・サークル等が主体的に行う講演会や鑑賞会などの学習活動に対して助成を行う。（補助率75%、ただし極めて公益性が高い場合は100%）	3件 300千円	
	⑤施設の整備・運 営・連携	年間	—	公共施設再配置計画など上位計画との整合を図りながら、施設の計画的な補修や整備を行うとともに事業連携・施設間連携により学習効果の向上を図る。	別紙施設整備計画 のとおり	10-2 10-5
家 庭 教 育	①家庭教育研修会	11/29(日)	文化セン ターTOM	講演会や実習を通して参加者相互の交流を図る。参加者交流会を開催。託児等健康子ども課と必要に応じて連携し、ニーズの把握に努め定着を図る。PTA連合会に後援、家庭教育サポート企業に協賛を依頼。	講師謝礼 100千円 需用費8千円	1-1
	②健康子ども課と の事業協力	年間	—	健康子ども課との打合せ会議を開催し、子育て支援センター、子ども家庭センターとの協力体制の充実を図る。	—	1-3 1-4
	③家庭教育相談	年間	相談室ほか	教育アドバイザーによる子育ての不安や悩みについて身近に相談する機会を提供する。	—	1-2
少 年 教 育	①児童宿泊研修会	6/11(木) ~12(金)	ネイバル 北見	社会性を培う機会として、全学園5年生合同で、体験活動を実施。担当教職員の事前打合せと反省会もを行い、目的や役割分担の共通理解やノウハウの蓄積を図る。	参加費103千円 (4,100円×1/2 ×50人) 需用費15千円 バス借上料154千円	2-1 2-4
	②子ども会の育 成・援助	年間	—	青少年指導センターの活動支援とあわせ、単位子ども会や湧別地区サポート協議会のあり方について指導助言する。	補助金 170千円	2-2
	③第1回子ども会 リーダー研修会	7/25(土) ~26(日)	五鹿山公園	住民自治の基盤ともなる地域子ども会の主体的な活動が進むよう、子ども会のリーダーとしての役割や心構えを学び、そのために必要な知識や技術の習得をめざす。また、青少年指導員の養成と活躍の機会とする。	青少年指導セン ター会計から支出	2-1 2-2 2-3
	④第2回子ども会 リーダー研修会	R9.3/6(土) ~7(日)	紋別市生涯 学習セン ター			
	⑤百人一首教室	11月~1月 毎週土曜日	農村センター	日本古来の伝統の競技を通して、ルールを守る大切さや礼儀作法を身につける機会とする。教室で継続指導することで、指導者と参加者の地域におけるつながりづくりも目指す。また、指導者の育成を図り実行委員会の活性化を促す。大会は実行委と教委との共催。義務教育学校（前期課程）~大人まで対象。	報償費24千円 需用費57千円	2-1 2-3
	⑥第55回新春交 歓カルタ大会	R9. 1/17(日)				
	⑦湧うゆう湧くわ く体験塾	年間 (月1回程度)	町内ほか	各学園4~6年生を対象に体験の機会を提供し、知的探求心、地域への愛着とコミュニケーション能力を養成する。また、成人ボランティアの指導を仰ぐことで地域の教育力活用を図る。 一泊二日でのJRYでのナイトミュージアムを予定。	報償費35千円 需用費40千円 手数料1千円 施設使用料1千円	2-1 2-2 2-4
	⑧湧別町・新篠津 村友好都市少年交 流事業	8/5(水) ~7(金)	湧別町	自然や産業体験活動など、児童の派遣と受入の交流を毎年交互に行うことで、お互いのまちの魅力を学ぶとともに交流の輪を広げる。各学園5~6年生およびリーダーとして各学園7~9年生・高校生も参加。各学園5~6年生は参加経費の半額、リーダー7~9年生は全額町負担。今年度は湧別町が受入。	報償費30千円 需用費150千円 損害保険料24千円 施設使用料380千円	

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
青年教育	①青年団体の育成・援助	年間	青年会館ほか	子どもを対象とした事業、屯田七夕まつりでの出店などを行っている湧別町青年団体協議会を支援し、将来の地域のリーダー育成を図る。	補助金 160千円	3-1 3-2 3-3 3-4
	②令和9年20歳の集い	R9. 1/10(日)	文化センターさざ波	20歳を迎えた若者を祝い励ますとともに、社会人としての意識高揚を図る。町主催、教委主管。 ※現学園6年生に「20歳の自分へ」の作文収集	報償費437千円 需用費84千円	3-1
成人教育	①第50回湧別町民大学	9月～11月 全5回	文化センターTOM	有志実行委員会組織主催。各ジャンルの講師を招き、今日的課題や地域課題等の解決に向けた学習機会を提供する。団体とのコラボ企画や、勤労世代の参加促進にも努める。町PTA連合会との連携事業。	補助金 2,500千円	4-1 4-2 4-3 4-4
	②PTA団体への援助	年間	—	各学校のPTAやその連合組織である町PTA連合会の学習活動を支援する。	補助金 180千円	4-2 4-4
	③ボランティア団体との連携	年間	文化センターさざ波ほか	はまなすボランティアなど自主的な奉仕活動を支援する。	—	
高齢者教育	①チューリップ生きがい大学の開設	年間 (月1回程度)	文化センターさざ波ほか	高齢者が充実した生活を送られるよう学習活動の機会を提供する。自主活動としてのクラブ活動も支援する。	報償費243千円 需用費36千円 印刷製本費77千円 借上料255千円 施設使用料3千円	5-1 5-2 5-3 5-4
	②アクティブシニア向け事業	年間	文化センターさざ波ほか	自分に興味があるジャンルについて3カ月単位で学ぶ「短期大学事業」などを実施し、アクティブシニアの新たな学習の機会を提供する。チューリップ生きがい大学クラブの方々にも講師として携わっていただき、生きがい大学の繋がり強化を図る。	報償費192千円	
	③世代間交流事業・社会活動参加奨励	年間	学校ほか	学校からの求めに応じ、義務教育学校の総合的な学習への支援など高齢者の持つ豊かな知恵・技術を活用する場の提供に努めるとともに相互の交流を図る。	—	
社会教育委員	①社会教育委員研修	随時	道内管内	研修を通じて委員としての資質向上を図り、地域における社会教育活動の充実に資する。 管内社会教育委員連絡協議会総会 管内 北海道市町村社会教育委員長等研修会 札幌市 遠軽・紋別地区社会教育委員研修会 西興部村 管内社会教育振興セミナー 大空町 北海道社会教育研究大会 稚内市 生涯学習実践活動交流セミナー 札幌市	社会教育委員 報酬141千円 費用弁償165千円	10-5
芸術	①文化団体の育成援助	年間	—	芸術文化活動の振興を図るため文化連盟等の育成援助を行う。	補助金 350千円	6-2 6-4
	②鑑賞機会提供団体の育成援助	年間	文化センターTOM・さざ波	良いもの見よう聞こう会、ゆうべつ活性化実行委員会等の活動支援	補助金 10,000千円	6-1 6-2 6-4
文化活動	③キッズアート鑑賞会	7/23(木) 10:00	文化センターさざ波	幼児対象 公演内容 きりがみマジックコンサート	公演料 500千円	6-1
	④ジュニアアート鑑賞会	9/4(金) 10:00	文化センターさざ波	前期課程全学年対象 公演内容 劇団ポブラ「アラジン」	公演料 880千円	
	⑤ティーンズアート鑑賞会	9/25(金) 10:00	文化センターさざ波	後期課程全学年対象 公演内容 トランク機械シアター「正しい部費の集め方」	公演料 647千円	
の振興	⑥文化芸術作品展示会等の奨励	年間	文化センターTOM・さざ波	湧別町文化連盟加盟団体や町民個人を中心に、絵画や写真などの展示を実施し、芸術文化活動の振興を図る。	—	6-2 6-3 6-4
	⑦カルチャー教室	年間	町内施設	子どもから大人までを対象に趣味や一般教養など町民のニーズに合った講座等の開催に努める。	講師謝礼 80千円	6-1

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
大会 の 開 催 等	①第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/28(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上）	負担金 3,000千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2026」	10/10(土)～11(日)	湧別総合体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,875千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,175千円 歳出総額 3,383千円	
ス ポ ー ツ 教 室 ・ 講 習 会	①夏の短期水泳初級教室	7月	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田千秋（トッカリ湧波会） 小橋百合香（スポーツ推進委員） 対象：各学園1～4年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ニュースポーツdeあそび「モルック大会」	9月	中湧別ゲートボール場	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。アクティブチャレンジ期間中に合わせてモルック大会を実施する。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：町内に在任の方	スポーツ推進委員 報酬32千円	
講 習 会	③ジュニアスケート教室	R9.1/6(水)～8(金)	芭露スケートリンク	町内の各学園（1～6年生）に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保拓也（芭露） 松本桃子（スポーツ推進委員） 藤本祐司（教委職員） 三浦菜畝（教委職員） 対象：各学園1～6年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬10千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	④運動・トレーニング指導「ゆうふいっと。」	4月～3月	湧別総合体育館ほか	町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。令和7年度より「ゆうふいっと。」と事業名を定め、町民への認知度を深めるとともに参加者の増加に務める。また、「ゆうふいっと。プラス」として夜にも開催し若年層への参加も促していく。 ■ゆうふいっと。 ・開催回数：月3回 ・講 師：教委職員 ■ゆうふいっと。プラス ・開催回数：隔月1回 ・講 師：外部委託 ■ゆうふいっと。アクア ・開催回数：2回 ・講 師：外部委託 ■ゆうふいっと。ヨガ ・開催回数：4回 ・講 師：外部委託	講師謝礼 70千円 委託料 293千円	
事 業	⑤湧別町・レバンガ北海道スポーツ推進事業	4月～3月	湧別総合体育館ほか	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。 予定事業 ①ミニバス少年団、各学園・湧別高校バスケットボール部の定期巡回指導 ②学校授業訪問や町主催事業への参加	委託料 1,386千円	
ス ポ ー ツ 推 進 委 員 事 業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	各学園（1～3年生）を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。 ※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室（上湧別百年記念公園広場） 6月 バルシューレ（湧別総合体育館） 7月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月 五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 10月 タグラグビー（湧別総合体育館） 11月 器械体操（湧別総合体育館） 12月 バスケットボール（湧別総合体育館） 2月 ボールゲーム（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象：各学園1～3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 バルシューレ 30千円 タグラグビー 5千円 スポーツ推進委員 報酬240千円	9-1 9-2 9-3

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
スポーツ推進委員事業	②巡回スポーツ指導	随時	町内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が 出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員 報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随時	管内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて 委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 紋別ブロック オホーツク管内社会体育振興セミナー 津別町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 札幌市	スポーツ進委員 報酬218千円 費用弁償176千円	9-2
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年間	-	体育協会への補助	補助金702千円	9-2
	③大会出場助成	年間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 (湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	9-1
	④合宿誘致助成	年間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,067千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-4
施設の整備活用	①施設の整備	年間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-1
	②施設の活用	年間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償 60千円	9-4
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随時	-	広報周知等 インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	9-1
図書館	①図書館資料の収集、整理、保存	年間	両館	○町民の読書傾向を踏まえ、新鮮な図書購入を行う。 ○両館並びに移動図書館車の蔵書構成を区分し特徴づけた収集を行う。 ○貴重資料のデジタル保存を推進する。	資料費 (図書、雑誌等) 8,040千円	7-1
				○魅力的な展示を行う。	-	
	②利用促進、読書 機会の提供	年間	両館	○図書館システム機器の更新	図書館システム 購入事業 備品譲渡割賦金 1,394千円	
				○インターネット等による情報発信を行う。	-	
				○調べものの相談、案内を通して利用促進を行う。	-	
				○古本、古雑誌のリサイクル活動	-	
				○マイナンバーカード連携の啓発	-	
③子どもの読書活動推進計画	令和5年度 ～ 令和10年度	両館	○就学前児童読書推進プログラムを実施する。 ・ブックスタート事業（4か月児／健診会場） ・絵本くらぶ（0～5歳／宅配） ・読書オリエンテーション（5～6歳／就学時健診会場） ・ブックスタートプラス（5～6歳／就学時健診会場）	資料費 (絵本) 150千円	7-3	
			○移動図書館車の運行 ・認定こども園、保育所、放課後児童クラブ ・義務教育学校3校、湧別高校	-		

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画 推進項目
図書館	④学校図書館支援	年間	両館	○クラス配本 ○学校図書館用図書の購入支援、新規購入図書の蔵書管理 ○図書館見学の受入 ○職場体験の受入 ○その他（学校図書館レイアウト相談等）	—	7-3
	⑤広域サービス	年間	両館	○移動図書館車の運行 ・機動性を活かし遠隔地域を中心に、子どもから大人まで図書に出会う場を広げ、読書活動の推進を図る。 ○宅配貸出サービス ・来館が困難な町民に対して、個別に配送貸出を行う。	—	
	⑥連携・ネットワーク	年間	両館	○図書館ボランティアとの連携強化を行う。 「りんごっこ」 「リーディング倶楽部たんぼぼ」 「湧別高校ボランティア部」 ○ゆうべつ学園朝の読み聞かせ 「リーディング倶楽部たんぼぼ」 ○中湧別図書館読み聞かせ 「りんごっこ」 「湧別高校ボランティア部」 ○その他	—	
		年間	両館	○図書館間の連携 ・図書館ネットワークを活用した図書館間の連携を図る。	通信運搬費 93千円	
		会議3回 研修1回	湧別図書館	○図書館協議会 ・定例会議 ・委員視察研修	報酬80千円 旅費18千円	
	7月～9月	両館	○北海道教育委員会主催「本を読んでファイターズを応援しよう」キャンペーン参加	—		
文化財保護	①文化財の保護 (1) 埋蔵文化財	年間	町内各所	○開発行為に伴う埋蔵文化財の保護事業 ・開発事業者との事前協議 ・所在調査、試掘調査 ○埋蔵文化財包蔵地の状況把握 ・現状確認（遺跡パトロール） ・周知資料（台帳等）の整備 ◎川西シブノツナイ遺跡の史跡範囲変更 ○シブノツナイ竪穴住居群調査検討委員会の開催 ・有識者3名、国・道の担当者2名程度 ・夏と冬の2回開催		8-1
	②文化財の保護 (2) 自然関連	年間	町内各所	○北海道指定文化財アッケシ草群の経過観察 ○天然記念物の手続（死亡・はく製・調査） ・オジロワシ ・タンチョウ ○記念木業務における関連部署との調整		
博物館活動	①博物館資料(1) 収集	年間	郷土館・ ふるさと館 JRY	【開拓関連資料】 ○資料寄贈への対応 【考古資料】 ○発掘調査に伴う出土資料の譲与申請		8-2
	②博物館資料(2) 整理・保管	年間	郷土館・ ふるさと館 JRY ・収蔵庫	○考古資料 ・川西シブノツナイ遺跡出土資料の整理 ・試掘調査等収集資料の整理 ○開拓関連資料 ・資料の保存環境整備 ○収蔵庫管理 ・文書資料の整理 ・古写真のデジタル化 ・資料外保管物の処分 ・資料移動（旧苫小体育館等） ○収蔵資料の特別利用許可に関する業務		

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

領域	事業名	期日	場所	計画内容	予算額	中期計画推進項目
博物館活動	③博物館資料(3)展示	年間	郷土館・ふるさと館JRY	○郷土館 ・企画展：発掘調査速報展（仮） ○ふるさと館JRY ・常設展示更新：解説パネルの追加と更新 ・収蔵展示室整備		8-2
	④調査研究	年間	—	【博物館資料（開拓期）の調査・関連事項の研究】 ・開拓期の衣食住 ・兵制度 ・冬季の生活 【埋蔵文化財の保護と活用、博物館教育】 ○道史跡の守るべき範囲・価値の明確化 ・シブノツナイと他の竪穴群との比較研究 ・古環境復元、食性解明の自然科学分析 ○教材研究 ・遺跡を活用した博物館教育の実践的研究 ○その他（大学等研究者との共同研究） ・北海道大学考古学研究室の発掘等調査支援（3年目） 対象遺跡：川西オホーツク遺跡		
	⑤博物館教育(1)学校授業・研修会・講座	年間	郷土館・ふるさと館JRY	【学校授業・研修会・講座】 ○開拓の歴史 （道具の変遷や機能の紹介） ・労働体験（鋸・斧・鉈） ・開拓期の衣体験 ・屯田生活体験館の活用 ○先史文化 （文化財である遺跡に触れ、親しむ機会の提供） ・先史文化の工夫を学ぶモノづくり学習（土器・勾玉） ・遺跡に親しむフィールドワーク（主に学校授業、シブノツナイを対象） ・遺跡の知識を深める講座 遺跡調査報告会（11月予定） *各種調査、報告書発行に伴う成果	講師謝礼 70千円	8-3
	⑥博物館教育(2)広報・情報提供	年間	—	【広報・情報提供】 ○博物館だよりの発行（湧く湧く内、HP） ○郷土史に関する情報提供及び質問対応（レファレンス）		8-3

中期計画推進項目の欄は、第3次湧別町社会教育中期計画における推進項目との対応を示すものです。

中期計画における領域	推進項目	表記
第1節 家庭教育	学習機会の提供	1-1
	活動等の支援	1-2
	学習環境づくり	1-3
	連携ネットワーク	1-4
第2節 少年教育	学習機会の提供	2-1
	活動等の支援	2-2
	学習環境づくり	2-3
	連携ネットワーク	2-4
⋮	⋮	⋮
第10節 生涯学習の基盤整備	学習推進体制整備	10-1
	施設整備・活用	10-2
	学習情報収集・相談	10-3
	指導者養成・団体	10-4
	連携ネットワーク	10-5

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等
青少年指導者センター タワー	子ども会フットベースボール交流会	7/5（日）	上湧別百年記念公園	地域子ども会の大会への参加を通して、青少年の健全育成を図ると同時に、地域子ども会活動の促進と、相互の交流を図る。また、監督会議や反省会等を通じ、子ども会で構成される組織運営の健全化を図り、地域自治の基盤づくりを支援する。
	子ども会リレー駅伝大会	10/4（日）	上湧別百年記念公園	
	子ども会交流ミニバレーボール大会	11/8（日）	中湧別総合体育館	
	第1回子ども会リーダー研修会	7/25（土）～26（日）	五鹿山公園	社会教育事業 少年教育参照
	第2回子ども会リーダー研修会	R9.3/6（土）～7（日）	紋別生涯学習センター	
	中高生リーダーの養成	年間	町内	リーダー研修会の企画運営などを行う、中・高生リーダークラブと、その指導にあたる青少年指導員の活動を支援し、地域づくりやまちづくりに参画できるリーダーの養成を図る。
町民会議	青少年健全育成町民会議事業	年間		青少年のたくましく健全な成長と青少年問題の理解を深めるとともに健全育成を図る。 ①あいさつ運動 ②指導、補導 ③青少年だより発行 ④優良青少年表彰
文化連盟	総合文化祭	展示の部 10/3（土）～4（日）	文化センターTOM(展示)	町内の芸術・文化関係者による日頃の活動成果の発表の機会と、町民に芸術・文化活動にふれてもらい文化の振興、発展を促します。
		芸能の部 10/18（日）	文化センターTOM(芸能)	
化ゆ 実行 委員 会性 良 い も の 見 よ う 聞 こ う 会	芸術鑑賞会	10月	文化センターさざ波	スターダスト★レビュー ～ア・カペラ&アコースティック編～
		7月	文化センターさざ波	岩崎宏美・国府弘子 ピアノ・ソングス
		R9.3.13(土) 16:00～	文化センターさざ波	八神純子Live2026 キミの街へ

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期日	場所	計画内容等
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2026	9/6(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。
スケート協会	第57回湧別町スケート大会	R9. 1/30(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし他）
実行委員会	ゆうべつアクティブチャレンジ2026	9/5(土) ~13(日)	町内	笹川スポーツ財団主催である住民総参加型のスポーツイベント「アクティブチャレンジ」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。
	【新規】レバンガ北海道U-15女子合宿	5/3(日) ~5/5(火)	湧別総合体育館	チーム合宿の他、町内学園バドミントン部を含む近隣チームとの練習試合を実施し交流を図る。 合宿予定人員：25名予定
	駒澤大学合気道部合宿	8月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定
会	第41回湧別原野林-ツク加カトリ-スキー大会	R9. 2/28(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km

議案第1号 令和8年度社会教育事業計画（案）について

令和8年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）

（単位：千円）

施設名	改修・整備等内容	事業費	備考
文化センターTOM	外壁（北側）改修工事	30,000	
文化センターさざ波	舞台吊物装置改修工事	42,130	
	空調機等自動制御盤点検業務	2,015	
	非常用放送設備工事	3,300	
湧別プール	プール底掃除機	1,098	
湧別町運動公園	運動公園グラウンド修繕	1,808	
	照明自動点灯盤（コイン式）取替修繕	980	
芭露パークゴルフ場	芭露パークゴルフ場芝修繕	2,596	
湧別図書館 中湧別図書館	図書館システム購入事業	5,360	備品譲渡割賦金 R7 38千円 R8 1,406千円 R9 1,388千円 R10 1,371千円 R11 1,364千円
ふるさと館JRY	芭露収蔵庫屋根修繕	583	
湧別図書館	温水暖房修繕（R6保守点検時指摘5箇所）	960	

社会教育事業及び関係団体等予定表

※予定は変更になる場合があります

		令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月
1	水		金 チューリップフェア～6月上旬	月
2	木	両こども園入園式	土	火 ゆうふいっと。(10:00-11:00湧別総合体育館)
3	金		日 憲法記念日 レバンガ女子U-15合宿(～5日) 湧別総合体育館	水
4	土		月 みどりの日	木
5	日	芭露保育所入所式	火 こどもの日	金
6	月	上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園入学式	水 みどりの日振替	土 上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園運動会
7	火	ゆうふいっと。(10:00-11:00湧別総合体育館)	木	日
8	水		金	月
9	木		土	火 ゆうふいっと(14:00-15:00湧別総合体育館)
10	金		日 ホタテ稚貝放流(例年10日～25日頃まで)	水
11	土		月	木 児童宿泊研修会(8:30ネイパル北見)
12	日		火 チューリップ生きがい大学②「モルック」(10:00-12:00さざ波)	金
13	月		水 ゆうふいっと。(10:00-11:00湧別総合体育館)	土 湧別認定こども園運動会 チャレンジスポーツスクール②「バルシューレ」(10:00-11:30湧別総合体育館)
14	火	ゆうふいっと。(14:00-15:00湧別総合体育館)	木	日
15	水		金	月
16	木		土 湧ゆう湧くわく体験塾①「入塾式」(10:00-11:00さざ波)	火 チューリップ生きがい大学③「講演会～湧別 機雷事件～JRY中島館長」(10:00-12:00 さざ波)
17	金		日	水
18	土		月	木
19	日		火 ゆうふいっと。(14:00-15:00湧別総合体育館)	金
20	月		水	土 湧ゆう湧くわく体験塾③「昆虫教室」 (9:00-12:00丸瀬布昆虫館) 芭保育所運動会
21	火	チューリップ生きがい大学①「開講式・自治会総会」(10:00-11:30さざ波)	木	日
22	水	ゆうふいっと。(10:00-11:00湧別総合体育館)	金	月
23	木		土 チャレンジスポーツスクール①「入学式・かけっこ教室」(10:00-11:30百年記念公園)	火 ゆうふいっと(10:00-11:00湧別総合体育館)
24	金		日	水
25	土		月	木
26	日		火 ゆうふいっと。(10:00-11:00湧別総合体育館)	金
27	月		水	土 認定こども園みのり運動会
28	火		木	日 第41回サロマ湖100kmウルトラマラソン 大会(5:00-湧別総合体育館裏)
29	水	昭和の日	金	月
30	木		土	火
31			日	